

Let's study abroad!

戸田市 海外留学奨学生募集



市では、故金子正夫様からの寄附金をもとに、豊かな心や幅広い視野を持ち、将来戸田市の発展に資する人材の育成を目的として、外国の大学・短期大学・大学院に留学する学生に奨学資金を給付しています。ぜひ皆さんもこの制度をご活用ください。

海外留学奨学生の生の声を紹介

制度発足以来、奨学生は106人にのぼり、現在さまざまな分野で活躍しています。現在も9人の若者が戸田市の海外留学奨学生として世界中で学んでいます。今回は、最近帰国した奨学生と現在留学中の奨学生の留学生活をご紹介します。

平成28年度海外留学奨学生 岩佐 弘美 さん (写真左手前)



シアトルセントラルカレッジ (アメリカ合衆国) に留学 帰国後は日本の大学に戻り、就職活動中

私は、高校生の頃から英語圏の国、特にアメリカに憧れを持っていました。大学に進学し、長期留学を目指して英語の勉強を始めましたが、留学することそのものが目的になっているという状況に悩みました。しかし、実際に留学してみると、日本にいた時には考えないようなことを考え、感じないことを感じ、振り返ると、留学しなければこのような経験はできなかったと思うことが多々あります。日本では当たり前なことも外国に行くだけで簡単に覆るといふこと、国が違うということは言葉が違う、文化が違う、法律が違う、違うことだらけです。それを経験として学ぶことができ、自分が当たり前のように日本で享受してきたもののありが

たさを知るとともに、日本の「当たり前」に惑わされずに生きていきたいと思えます。帰国後に就職活動を始めました。留学する前は就活について漠然とした不安があったのですが、今は自分の将来と向き合う機会として受け止めています。シアトルで過ごした9カ月間は、日本ではすることのできない経験ができた期間であり、留学したいという気持ちに正直になって飛び出してみても本当に良かったと思っています。

平成29年度海外留学奨学生 中島 笑 さん (写真左)

現在、ブリストル大学 (イギリス) に留学中 EU離脱を決めたイギリスで国際関係について学んでいる



さまざまな国の人々と話すことで文化や考え方の違いに驚くことが多いですが、多くの人々が日本という国に興味をもってたくさん質問してくれるので、本当に嬉しく思います。それに応えようと、私自身も日本を学び直しています。まずいと評判のイギリスの食事は、残念ながらその通りでした。おかげで心配していたはずの自炊にはまっています。授業の形式が日本の大学とは違い、プレゼンテーションや週に100ページ以上の予習が課せられるなど、自主学習の量がとても多いです。しかし、始めの頃と比べて、プレゼンテーションスキルの向上を実感したり、討論にも加われるようになりするなど、自分の中でわずかながら成長を感じることができてきました。大学以外の時間も地元の人々と過ごすことが多く、敬語がないおかげで年配の方でも「友達」として接していただき、勉強の疲れを忘れられるくらい楽しい時を過ごしています。また、日本で働きたいという中国人の友人もでき、彼女に日本語を教え始めました。帰国しても関係が続く友人ができて嬉しく感じています。あつという間に残り数カ月の留学生活となってしまいましたが悔いのないよう一日一日を大切に過ごしたいと思っています。

募集要項

募集人数 若干名

応募資格

- 1 父母および本人が市内に引き続き2年以上住民登録をしていること
- 2 日本国籍を有していること
- 3 本人およびその世帯の人が市税を完納していること
- 4 学校教育法の規定による高等学校、中等教育学校の後期課程、大学、短期大学、大学院、高等専門学校に在籍する人および卒業後7年以内の人または高等学校卒業程度認定試験の合格後7年以内であること
- 5 留学先の学校の受入証明書がある、または取得できる見込みがあること
- 6 所定の語学力要件を満たしていること
- 7 市内に居住し、市税を完納している連帯保証人が1人以上いること

問い合わせ 教育総務課 (内線326)

給与限度額

留学期間が1年(1学年)以上2年(2学年)未満の場合は100万円、2年(2学年)以上の場合は150万円

*給与が決定された場合でも、選考結果により満額給与されない場合があります

選考 書類選考および面接

申込 6月15日(金)～7月5日(木)

*申請書は6月1日(金)から教育総務課で配布するほか、ホームページからもダウンロードできます
*留学する日の1年前から申し込みできます